

星屑

1997.5月号
No. 266



熊本県民天文台

COMET PAGE

Apr. 1997

by Porco Nisse (KCAO)

このページは、1997年3月に観測した彗星の紹介です。

なんど「世紀の大彗星！」という言葉に裏切られたことでしょう…。でも、ヘール・ボップ彗星はやってくれました。正真正銘のグレート・コメットになったのです。全光度は、3月半ばでマイナス等級になりました。渦巻き、アーチ、リングと見方によつていろいろ変化する核近傍と2本の尾、誰にでも簡単にわかる大彗星です。みなさん、これはもう見るしかありませんぞ！！

★ C/1995 O1 (HALE-BOPP)

Mar. 3, 1997
41cm F/6L

1'

C/1995 O1 (HALE-BOPP).

Mar. 4, 1997
41cm F/6L

1'

C/1995 O1 (HALE-BOPP)

C/1995 O1 (HALE-BOPP)

Mar. 8, 1997 50mm F/1.8

HPC-1/Teleris-400 30sec.



KCAO

C/1995 O1 Mar. 3.84 UT 1sec.

1'

C/1995 O1

1'

Mar. 4, 1997 41cm F/5L 1sec.

青に
弱いCC
Dの特
性から
長い尾
はフィ
ルムに
任せて
41cm
では核
近傍構
造的に
を絞つ
て観測
していま
す。ここ
にその
様子を
掲載し
ましょ
う。獨
特の
渦巻き
構造を
見てく
ださい。
その変
化がわ
かるで
しょうか。

C/1995 O1 (HALE-BOPP)
Mar. 5, 1997
41cm F/6L

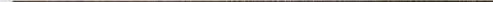


C/1995 O1

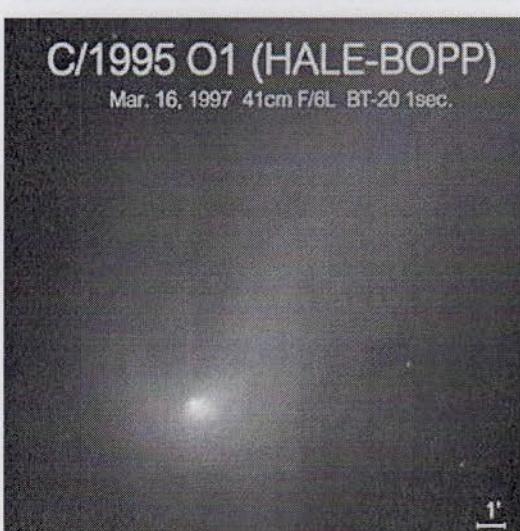


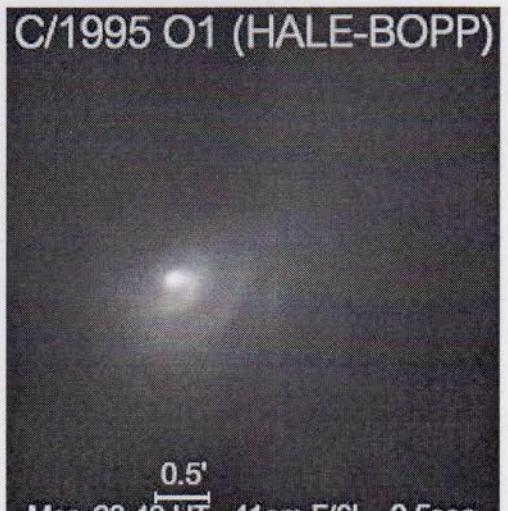
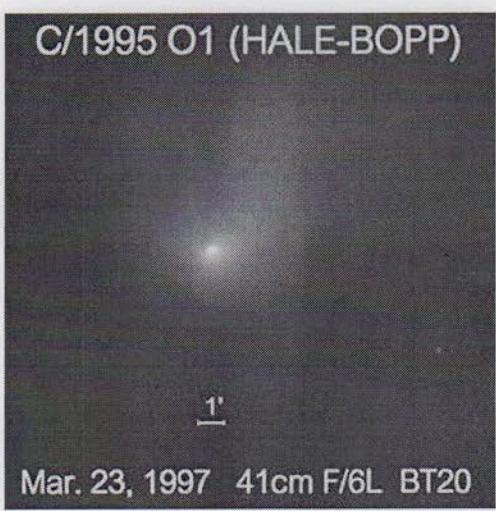
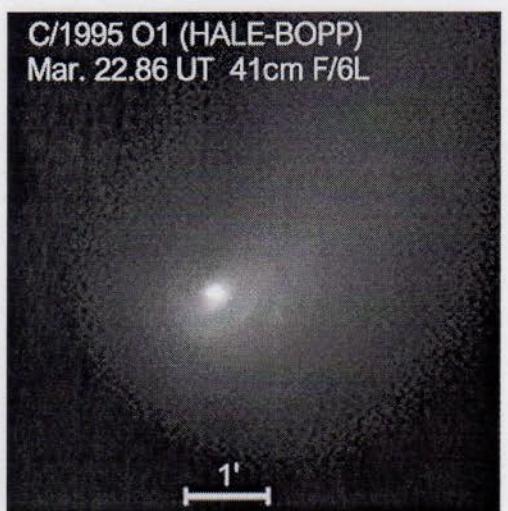
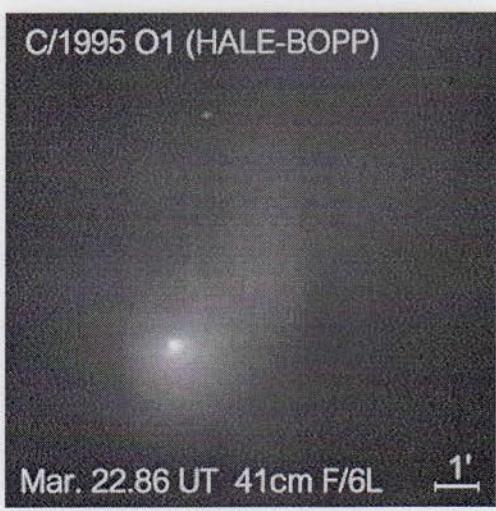
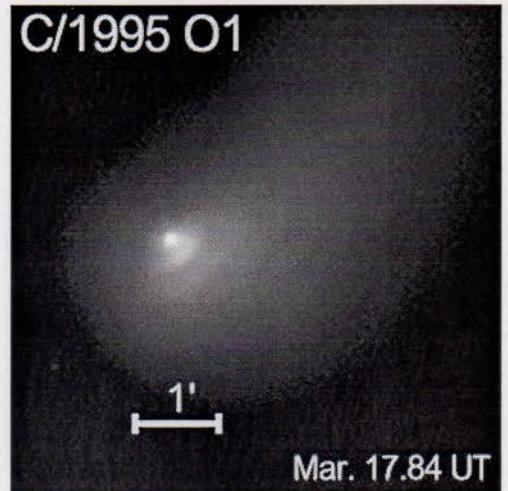
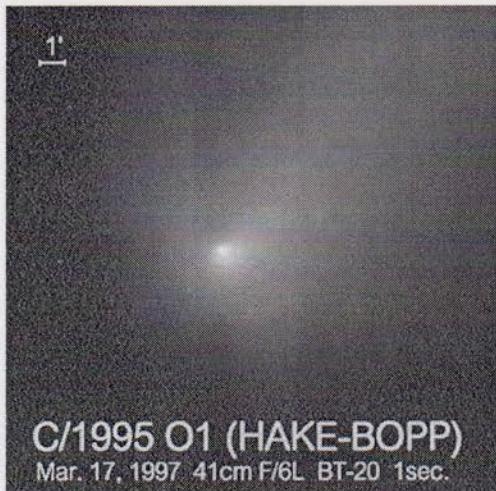
C/1995 O1 Mar. 8, 1997

C/1995 O1
41cm F/6L
BT-20 0.7sec.



C/1995 O1 (HAILE-BOPP)
Mar. 16, 1997 41cm F/6L BT-20 1sec.

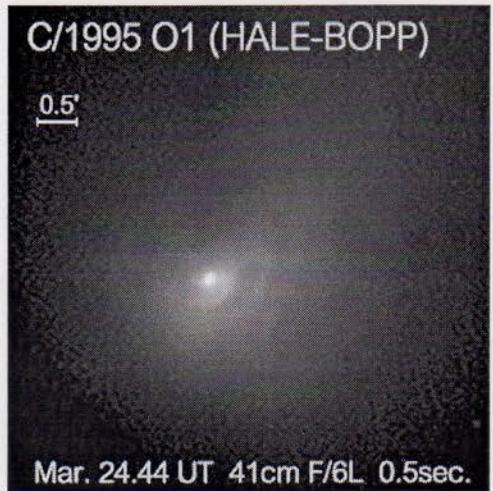




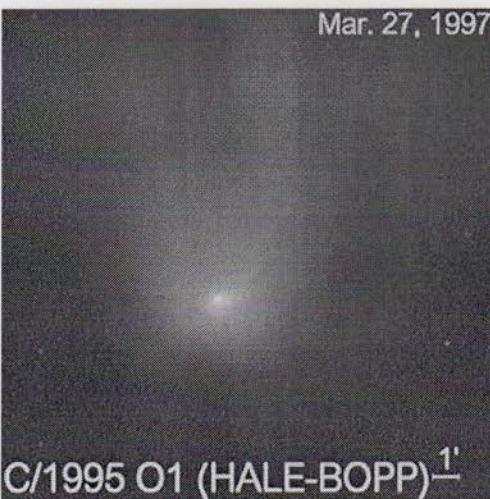
左の画像は41cm反射の直焦点(2400mm)で撮像したもので、右の画像は左の画像を処理して核付近の構造を拡大表示したものです。



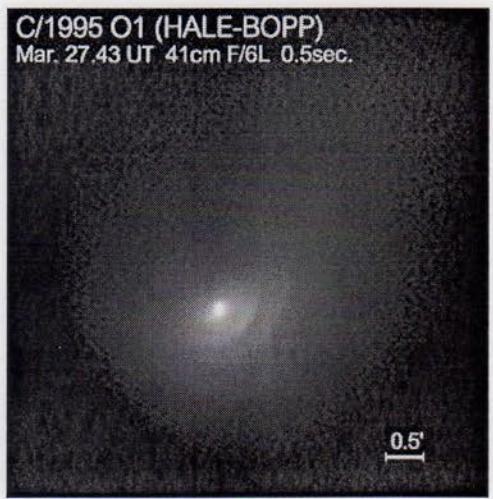
C/1995 O1 (HALE-BOPP)
March 24, 1997 41cm F/6L BT-20



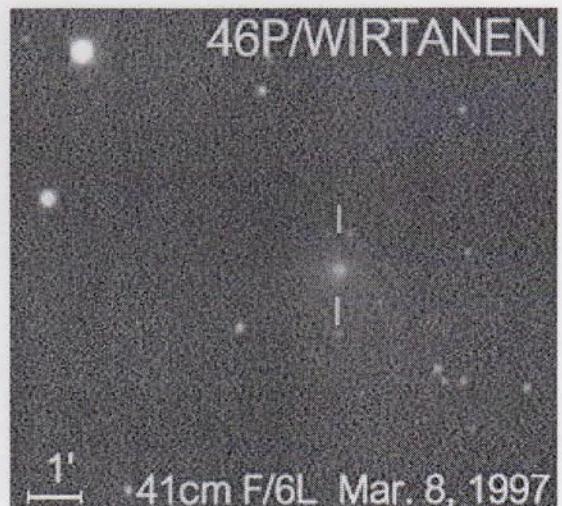
C/1995 O1 (HALE-BOPP)
Mar. 27.43 UT 41cm F/6L 0.5sec.



C/1995 O1 (HALE-BOPP) $1'$



81P/WILD 2 Mar. 8, 1997



46P/WIRTANEN

$1'$ 41cm F/6L Mar. 8, 1997

次に、ヘール・ボップ彗星の陰で目立たず損をしている短周期彗星を2個紹介しておきます。

★ 81P/Wild 2

★ 46P/Wirtanen

ヘル・ポップを 取り巻く巨大な渦！！

by Tsuyasan

ヘル・ポップ彗星は期待通りに明るくなりました。マスコミによる「今世紀最大」とか「今世紀最後！？」とかの宣伝のおかげで、地球最接近や近日点通過の日、さらには「とにかく、晴れた日」の天文台は大変なにぎわいです。

渦・・・その1

会員の皆さんはご覧になつたでしょうか？3月19日、RKK 熊本放送で放映されたヘル・ポップ特集。なんと、あのマスコミ嫌いで有名なJ氏が主人公として登場する、観測者の一日を密着取材した内容です。

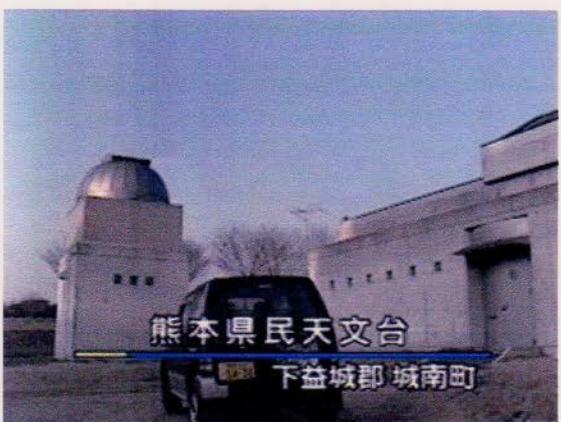
J氏が初めての望遠鏡を手に入れ、「天体観測マニア」への道を歩むきっかけになったエピソードや、冷却CCDカメラを使った観測の様子などが紹介され、なかなかの力作ですヨ。



これは、きっといい反響があるぞ、と期待しているところへ、早速電話がかかってきます。でも、話題の中心は、「番組の中で紹介されたJ氏の年齢が間違っている」とばかりなんです。

いつも私に向かって言っている「3つ違い」という説明（実はジョーク）を、取材陣に平気で言ってしまったらしいのです。そして、それを真に受けた「まじめな」人々の計算によって例の年齢がテロップにな

ってしっかりと焼き込まれたという訳です。本当の年齢はいくつかって？・・・



それは、本人にお尋ねください。

ビデオは、証拠物件としてしっかりと録画してあります。折を見て上映会など致しましょう。

外国からの問い合わせ

ジエームズ氏の協力を得て、「星屑」のコメントページを加筆・翻訳したことはすでにお知らせしましたね。これを見たからだと思われる、外国からの問い合わせメールが2通届きました。1通はアメリカから、もう1通はイスラエルから。

ヘル・ポップ彗星が現地でどのような位置に見えるかを、簡単に解説した返事をメールしたところ、イスラエルからは、丁重なお礼が帰ってきました。「このように、国際的にアドバイスがもらえるなんて夢のようだ」と書いてありましたが、インターネ

ツのおかげで、私たちもいろんな情報を集めたり発信したりできるようになったんだなあと、感慨新たなものがあります。

私の下手な英語も、少しは役に立ちはじめたんだと、ますます恥をあそれず英語版の充実にも励まねばなりません。もちろん、日本語版の充実もね。

それにしても、会員のみなさんからほとんど問い合わせがないのは何故でしょう？

連日公開

一般公開は、週末の金・土・日、3日間に減らしていますが、ヘール・ポップがマスコミの話題になってる今、そんな悠長なことは言つていられません。何しろ晴れてさえいれば、連日大勢の方が天文台を訪れます。「天文台に来るより、空のきれいなところで、肉眼と双眼鏡で楽しんだ方がいいですよ！」と言うアドバイスも、まじめなものとしてではなく、「来ないでほしい」言い訳にしか受け取ってくれません。

日が落ちて、天文台の周りに人の気配が漂い始めると、さあ！戦闘開始です。日没後、合わせマーク（今の望遠鏡にはメモリ環が無いので）を使い、シリウスを導入してアストロ・スケールの数値を合わせる。次いで、ヘール・ポップの今日の位置に望遠鏡を向け、冷却CCDカメラを取付けて待機。いつでも撮像できる状態です。

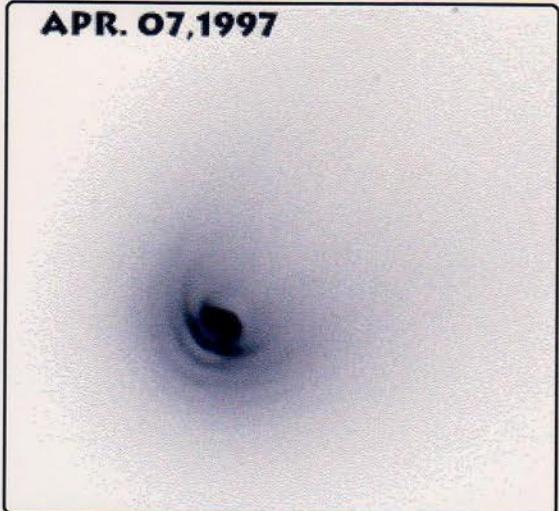


撮影を開始すると同時に、特別公開も始まります。

なにが特別かって？大きな声で、丁寧に、頻繁に、「望遠鏡では撮影中です」、「望遠鏡には決してさわらないでください」、「足下にケーブルと機械があります」、「引っかかるないように、ゆっくり動いてください」などと、注意を促しながら、ヘルボップの解説をするんです。ある時など、2分あきの連続撮影をしながら、傍らで公開していましたのだから、大変でした。連日、こんな具合で、観測と公開の同時進行が続きます。観測室には人の渦！

ヘルボップ彗星の巨大な渦

APR. 07, 1997



でも大勢のお客さんに囲まれて観測していると、楽しいことが多いですね。

途中で撮像をやめ、彗星の高度があるうちに、41cmにアイピースを取り付け、お客様と一緒に、彗星の核近くの渦巻き模様をたっぷりと眼視で楽しむことができました。こんな渦巻き構造を目にするのは、何と言っても「人類初体験」なんですから、見なければ損ですよ！！

とった画像や、制作した動画は、5月の総会で発表します。ご期待ください。
ゴールデンウイーク頃までは楽しめるはずです。まだ見ていない貴方！今度晴れたら、海へ！ 山へ！ 天文台へ！！

熊本大学天文研究会の 春合宿ドタバタ顛末記

ながお たつや

去る4月1日から4月3日まで、2泊3日の日程で熊本大学天文研究会春合宿が行われました。合宿というからには、たいそうな事をやっているようと思われるかもしれません、何のことはない、ただの観光なのであります。また、合宿の企画は1年生がすべてを取り仕切る事になっていたので、僕たち1年生は張り切っていました。

最初の目的地は山口だったのですが、参加する人数のあまりの少なさにやる気を無くし、近場にしようと急きょ大分の天ヶ瀬温泉に変更したにもかかわらず参加者は11人。

ちょっとさみしい春合宿はこうして始まったのです。

4月1日午前10時、総勢11人は「磯田カルタス号」「立山シビック号」「中嶋セルボ号」「中尾シビック号」の計4台で最初の目的地、阿蘇へ出発しました。なにごともなく、大観望で休憩の後阿蘇へ到着しました。しかし火口へ車で行こうとしたとき、なんと、客引きのオヤジに捕まってしまったのです。オヤジいわく、「安い道を知ってるからついて来んね。」断って逃げようとしたのですが、オヤジも商売人、簡単には引き下がりません。しつこくつきまとわれたあげく、やっと逃げて火口に来たと思えば、至る所に出店のおばちゃんがいます。

「ロープウェイに乗って帰らんね」と言ってきたオヤジなんかは、僕たちが車で来ていることを知った瞬間に愛想が悪くなりました。阿蘇の雄大さに感動するとともに、さすが観光地だなあと妙に納得させられたのでした。

そして、草千里で昼食の後、天ヶ瀬温泉に向けて出発しました。しばらくは順調だったのですが、いつしかしんがりの「立山シビック号」の姿が見えません。

「道に迷ったのか…?」、「もしや事故ったのでは…?」とさまざまな憶測が乱れ飛ぶなか「熊大天研のマンセル」こと磯田さんが自慢のカルタス号を駆って探しに行ったのですが見つかりません。結局、「下見に行ったのは立山君だから場所は分かってるでしょ。」と切り離されてしまったのです。この後も細かい道をまちがったりと右往左往してやっと宿にたどり着くと、先に「立山シビック号」が到着しています。なんでも、間違って湯布院のほうまで行ってしまったとか…、おつかれさまでした。

僕たちの宿は貸し別荘で山の中にあったので、星がきれいだらうと期待していたのですが、悪天候などで結局HB彗星を見ることは出来ませんでした。そして旅のお楽しみはなんといっても食事です。これは自分たちで用意することになっていたので、1日目は材料を大量に買い込み、外でバーベキューをしました。この別荘は温泉街にあるだけに温泉、しかも露天風呂があったのです。温泉好きの天研の面々は喜んで入っていたのですが、中にはもっと幸せな人々もいたようです。

露天風呂はコックをひねると岩の間から温泉が出てくることになっていたのですが、それ以外にも普通の水が出る蛇口とガスで沸かしたお湯が出る蛇口が付いていました。

その人々は、温泉のコックに気づかずに、ガスで沸かしたお湯を出して入って、さらに「いい湯だった。」とのたまっていたらしいのです。なんて平和なんでしょうか。でも、こういう人々に支えられて熊大天研は成り立っているのです。

さてその後ですが、お決まりの宴会になるかと思いきや、酒がなかつた事もあり、オセロや将棋といった地味な一夜になりました。

夜が明けて2日目、天気予報では雨だったため、どこにも行けないだらうということで、起床は各自起きたときで良いという、なんともあいまいな1日のスタートでした。そして、朝食兼昼食を食べに日田市内へ出て、そのままボウリングをして夕食の買い出しに行きました。

2日目の夕食は定番の鍋。みんなで食べる鍋の味は格別なものでした。ここでも期待を裏切らない天研のエース、なにかと飲み食いの席には必ず顔を出す某T君は先輩の、

「おい、そのうどんまだ煮えてないんじゃないか」
という声を無視してうどんを食べはじめる始末です。きっと彼は今年度も活躍してくれることでしょう

その夜、僕は早々と眠ってしまったのですが、盛り上がっていたようで深夜にごそごそと物音や話し声がします。なぜか、部屋の電気がついたら消えたり、挙げ句の果てには誰かが僕のベッドと足を踏んでいきました。いったい何をやっていたんでしょうか。元気なものです。

さて最終日、前日とはがらりと変わってテンションが低く、やる気の見られない天研部員、天候が悪かったこともあり、そのまま大学へ帰ることに決定し、途中で昼食兼反省会を行ったあと無事大学へ到着して解散。

波乱に富んだ春合宿はこうしてお開きとなつたのでした。

ルルルルルルルン、ルルルルルルン、ルルルルルルルルーン。さて、何の主題歌でしょうか？てな訳で、春になると居るのです。私みたいなのが。桜はどうでしたか？私は熊本城でばっかり花見でした。昼前に某鶴屋に弁当を買いに、昼休みはダーダーと熊本城へ（桜の様子は私のHPへアップしてあります）とっても綺麗ですよー。

まったく、仕事中に何をしているのでしょうか。こんなんじゃ会社も潰れる！！

ところで、夕方熊本市市役所近辺でヘルボップ彗星が見えたのには感動しました。あんな明るいところででも、ぼーっと肉眼でもハッキリ見えました。明け方から夕方へ移ってきて、寝不足も少しは解消されたかな？といったところですが、皆さんは御覧になりましたか？まだ間に合いますよ。

☆ 5月の天文現象＆行事☆

2日（金） 八十八夜

5日（月） 水瓶座η流星群が極大 立夏

7日（水） 新月（05：47）

10日（土） トーケアバウト（20：00～）

14日（水） 上弦（19：55～）

16日（金） 木星第3衛生ガニメデが第2衛生エウロパを隠す（01：36）

22日（木） 満月（18：13）

23日（金） 水星が西方最大離角（25°21'.8 光度0.6等）

25日（日） 平成9年度熊本県民天文台総会：城南町尖の君総合文化センター
午後7時開会 詳しい内容については、次の星屑でお知らせします。

29日（木） 下弦（16：51）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1997年5月号 通巻266号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML